

稟准 新製格魯兒加爾基別能書

飲不貼ス 防護藥

新製と云ふ所の格魯兒加爾基は日蓮恩法克且特の功効ヲ首として製し外より来る諸病
一切の毒氣を根絶し以て靈業あり凡人の病は生きたるを躬と傷らるるの餘なき外より深
のほて虎狼利熱病痢病邪氣等の邪との著りのきり總て生らるるの毒氣を以て
之を皆れ生ものれ氣中に血氣邪毒の難濁れ腸胃と多く身害とす一病を感と知
たし其樂と利あれば毒氣清淨爽快と毒毒を感と人々製を感と生念をたけ生病徒
らじむ効驗的確あり遂に人畜の保護業とす方今西洋開化の國々も家々此藥を
なす至れり○流り病のちるは毒を水と舟客の刻合とを挽き家の用不撒下又物の
此藥を室毎に敷く外に此紙を貼ると此薬を貼ると病者其氣を死に病味
のくまよりわび病者の方より○大便汚濁腹痛等の病は此薬を貼ると○牛登と布
は之を周不裁もつと○牛腹の病は之を刻合の水と挽きを麻布に撒く○牛腹は格魯
必要薬あり悉く牛経書に記し○牛登室と板の擦りて下におけば毒を去る○
臭く臭のりる間々きくなり臭消とく納く取替だ○聖と押壊れは若くは刃
破れ直し目張りと窮く熱とく此薬功効はるなり○本質二元素はして彼の紀元千
七百七十四年に始り世に發明し後究は之を國々今此日蓮恩法克且特と彼各國
大學諸先生も發明の緒説を新表掲げを製せり抑毒を滅は功用の活ら
るるを毒を臭と下と去りて眼前の証據は然り紙を少く便所におけば即ち
その驗を知るなり故に服薬よりらば藥効見びとく之を忽とく之を

大阪瓦屋町三番町五拾二番地

精鍊主

石河正昭

發兌人

同 天満天神橋筋四丁目 賣捌所

高瀬信英

